

福島県伊達市への移住に関するアンケート、グループインタビュー結果

2017年1月24日

1. アンケート(実施概要)

【調査方法】 ウェブアンケート

【実施期間】 2016年11月18日(金)～20日(金)

【調査対象】

- 40歳以上の男女(均等割り付け等を行わない)
- 伊達市等に縁のある方、および、伊達市等に縁のない方
- 伊達市、およびそれ以外の地域への移住希望者

※1「伊達市への移住」に関する具体的な回答を得るため、以下の優先順位でサンプル収集を実施。

(1)伊達市への移住希望者 (2)伊達市等への移住希望者 (3)その他地域への移住希望者

※2 伊達市等に縁がある:以降のいずれかの項目に該当。伊達市等が自身・配偶者・親戚等の出身地が伊達市等、伊達市等に居住経験あり、知人あり、5回以上の訪問経験あり、1週間以上の滞在経験あり、別荘所有、ふるさと納税

※3 移住希望者:長期滞在、二地域居住を含む広義の移住に興味がある人

※4 伊達市等:福島市、伊達市、国見町、桑折町

【調査方針】

- 「伊達市」に対する移住先としての評価について、属性別に分析
- 論点を「伊達市への移住」「CCRCへの関心」を中心とした設問構成にする。

【サンプル数】 1,030

1-1 設計・設問

事前調査、本調査の2段階構成で実施

【事前調査】

- 首都圏居住者の抽出(現居住都道府県)
- 伊達市等に縁がある人の抽出(伊達市等出身、伊達市等における居住経験等)
- 移住希望の有無(一般的な移住希望の有無、伊達市、伊達市等への移住希望の有無)

【本調査】

• 地方への移住、二地域居住、長期滞在に関する意向

- 理由(転職、自然環境、家業を継ぐ、子育て環境等)
- 魅力(気候、自然環境、趣味、文化、住環境等)
- 懸念事項(仕事、生活環境、利便性、近所づきあい等)
- 移住先地域の性格(別荘エリア、生活利便性重視エリア、自然環境重視エリア等)
- 移住先住居形態(新築・リフォーム、戸建・集合住宅等)
- 情報収集源(新聞、雑誌、テレビ、HP、SNS、相談窓口等)

• 伊達市版CCRCについて

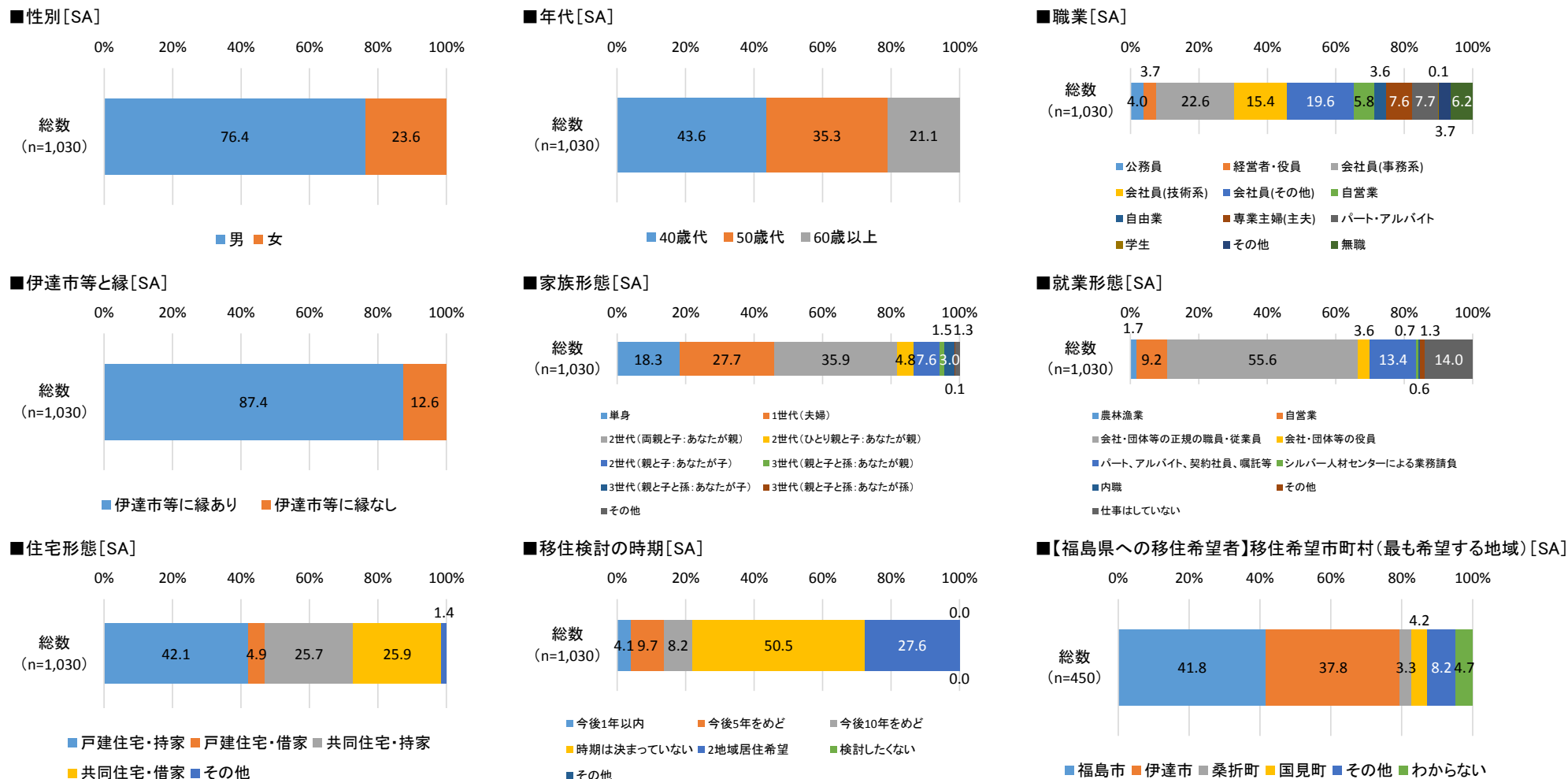
- CCRCの認知度
- 伊達市のCCRCに希望する機能(医療・介護機能、子育て支援機能、コミュニティスペース、料金、サポート等))
- 伊達市で希望する活動(トレッキング、自己研鑽、同好会活動、ボランティア等)
- 情報提供に関する希望(セミナー、相談窓口、イベント、短期滞在、長期滞在等)

• 回答者属性

- 家族形態、就業形態、現在の居住形態、自動車の運転、世帯貯蓄、世帯年収、老後の年収見込み、グループインタビューの対応可否

1-2 サンプル概要

- 男性の回答率が高く、約半数の人が企業等の従業員である。
- 伊達市への移住意向の抽出を主目的とするため、(特に伊達市・伊達市等への)移住希望者を優先的にサンプリングしており、全体構成については代表性がない点に留意する必要がある。



2. 集計結果

● 伊達市への移住意向者のサンプル属性

- ◆ 伊達市への移住希望者の約7割が伊達市等に縁がある人。検討時期が5年以内は2割程度。
- ◆ 世帯属性では2世代世帯(回答者が親)、就業形態では会社等の従業員、居住形態では持ち家が主。
- ◆ 回答者自身が運転する割合が77.6%であり、伊達市への移住を希望しない人より高い。
- ◆ 収入・貯蓄、老後の収入において、伊達市への移住を希望しない人よりもやや高い傾向が見られる。

● 移住の理由・魅力・懸念事項

- ◆ 【理由】自然豊かな環境、仕事・働き方を変えたい、都市部の暮らしが合わない、広々とした住宅を確保したい、家賃や住宅の価格が安い場所に移動したいが比較的多い。
- ◆ 【魅力】風光明媚、街のイメージ、自然環境、歴史・文化的遺産、人情味、地域コミュニティが魅力。
- ◆ 【懸念事項】仕事の確保、生活環境、公共交通、医療介護、子育て環境が主な懸念事項。

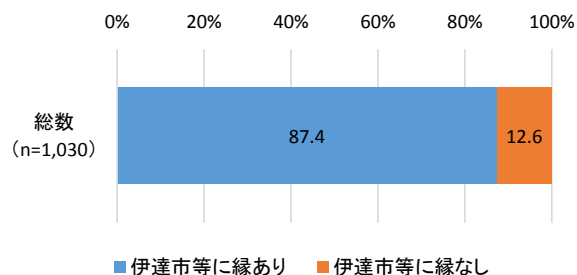
● 伊達市版CCRCへのニーズ

- ◆ 【機能】医療・介護・健康づくりのサービスと施設の充実、居住者と来街者が一緒に楽しめる施設、比較的安い料金で住めることへのニーズが高い。最重要は、医療と価格。新築よりもリフォーム希望。
- ◆ 【やりたいこと】運動等の健康活動、地元食材での料理、自己研鑽のニーズが最も高い。同好会、得意分野を生かした地域貢献・仕事、復興・地域おこし活動への参加も約3割がやってみたいと回答。
- ◆ 【情報収集】移住に関する自治体窓口の充実、ホームページ・ポータルサイト、首都圏での移住相談、お試し居住へのニーズが高い。

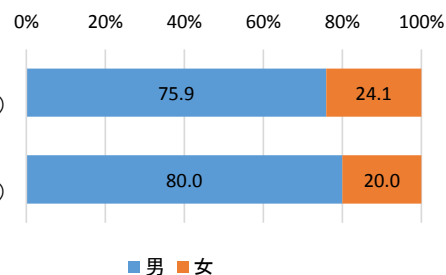
2-1 基本情報【伊達市等への縁の有無別】

- 今回のサンプルの約9割は伊達市等に何らかの縁がある人である。
- 伊達市等に縁がある人の方が、最も希望する移住先を伊達市とする割合が高い。

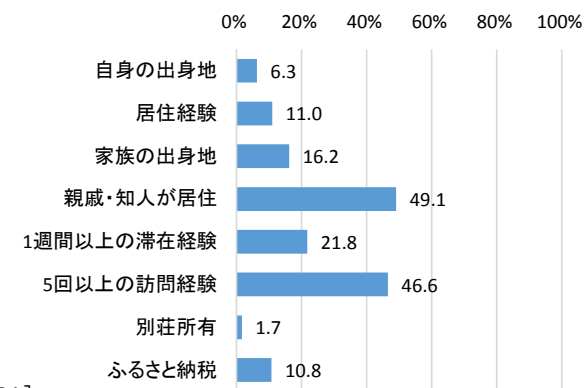
■伊達市等と縁【SA】



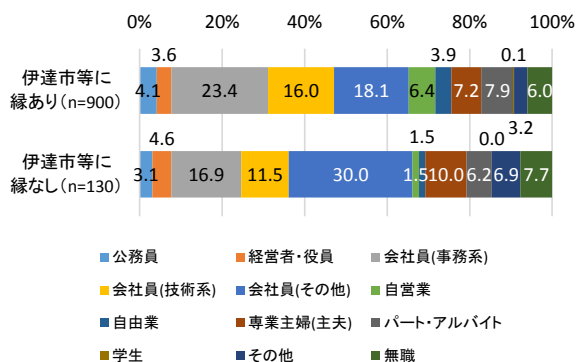
■性別【SA】



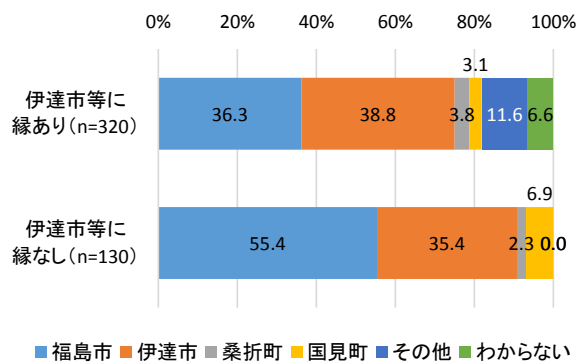
■伊達市等との関わり【MA】



■職業【SA】



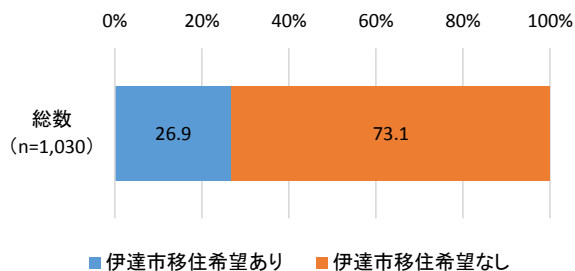
■【福島県への移住希望者】移住希望市町村(最も希望する地域)【SA】



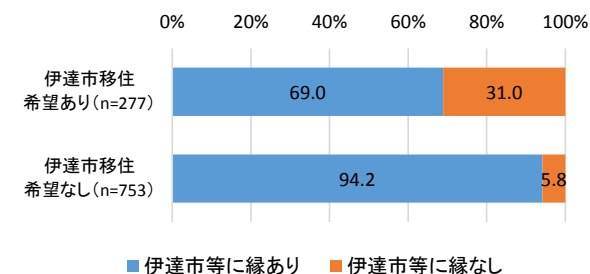
2-2 基本情報【伊達市への移住希望の有無別】①

- サンプル総数のうち、26.9% (N=277) が伊達市への移住意向を示している。
- 伊達市への移住希望がある人の約7割が伊達市等に縁がある人であり、検討時期は5年以内が2割程度と具体的なイメージを持っている人の割合が高い傾向が見られる。

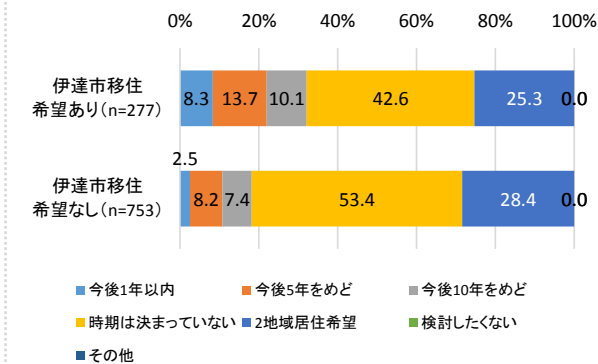
■伊達市への移住希望(移住希望市町村[MA]より算出)



■伊達市等と縁[SA]



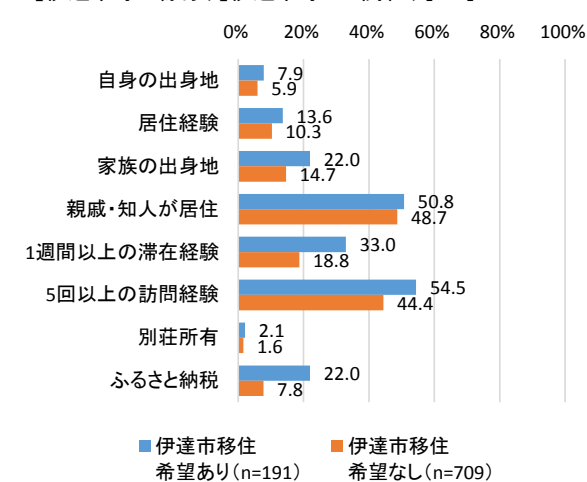
■移住検討の時期[SA]



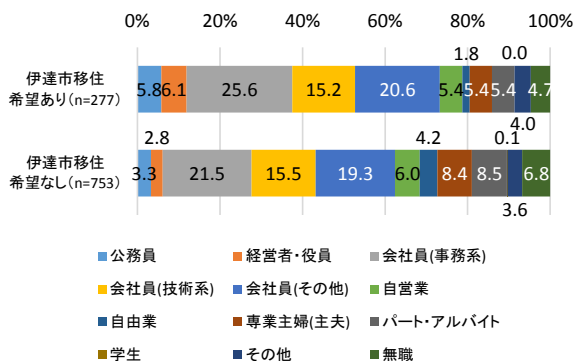
■平均年齢

	サンプル数	平均値
伊達市移住希望あり	277	51.3
伊達市移住希望なし	753	52.7

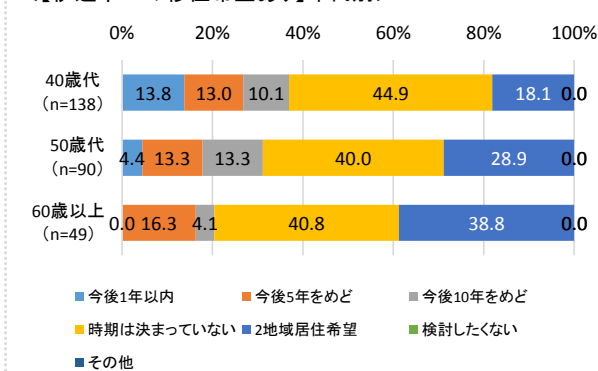
■【伊達市等に縁あり】伊達市等との関わり[MA]



■職業[SA]

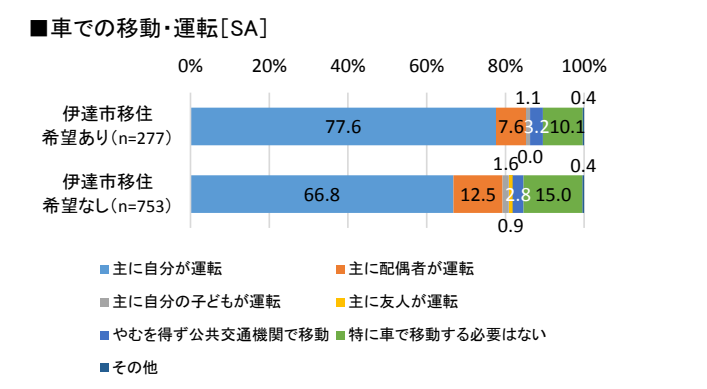
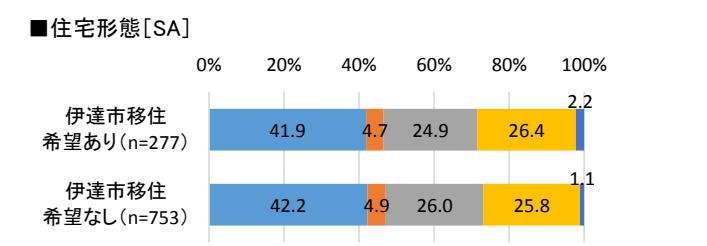
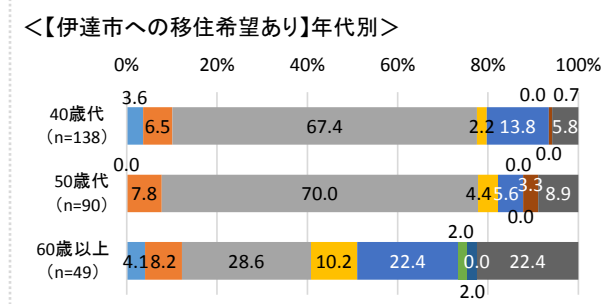
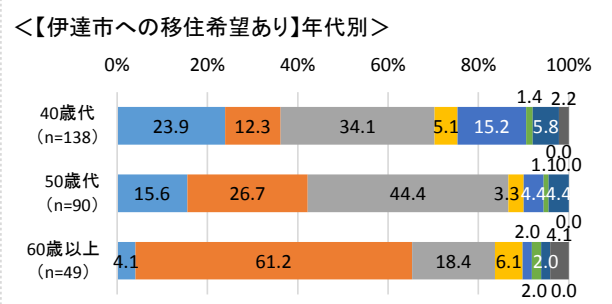
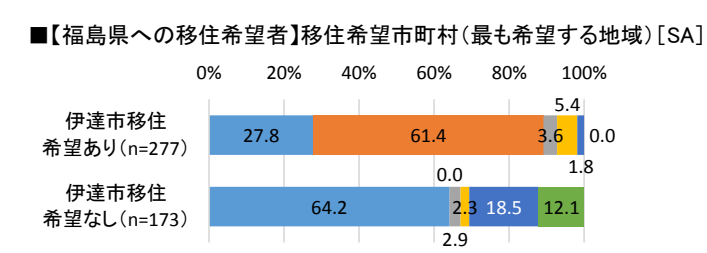
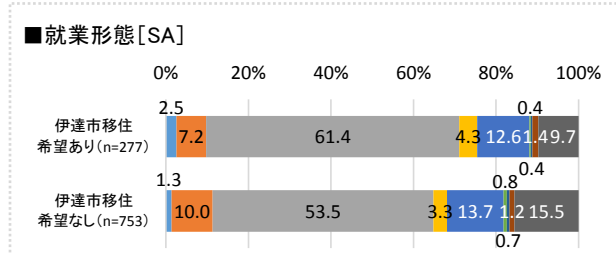
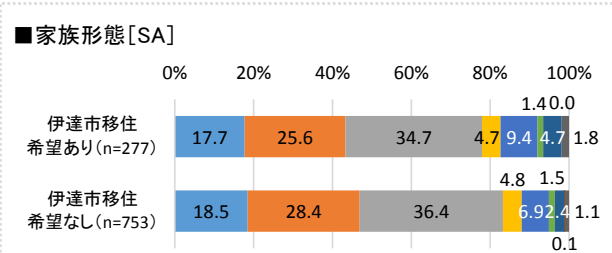


<【伊達市への移住希望あり】年代別>



2-2 基本情報【伊達市への移住希望の有無別】②

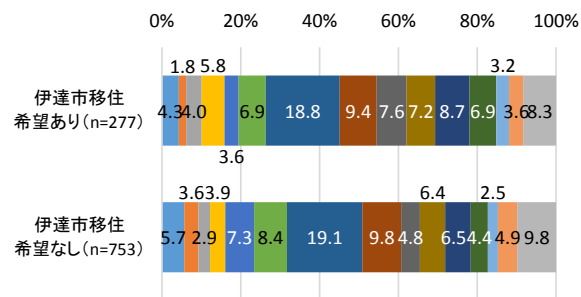
- 伊達市への移住希望がある人の34.7%は2世代世帯(回答者が親)、61.4%が会社等の従業員、持ち家率は66.8%(戸建: 41.9%、共同住宅: 24.9%)である。
- 伊達市への移住を希望する人は、回答者自身が運転する割合が77.6%であり、希望しない人より高い。



2-2 基本情報【伊達市への移住希望の有無別】③

- 伊達市への移住希望がある人は、希望しない人に比べると、貯蓄・収入・老後の年収共にやや高い傾向が見られる。

■貯蓄[SA]

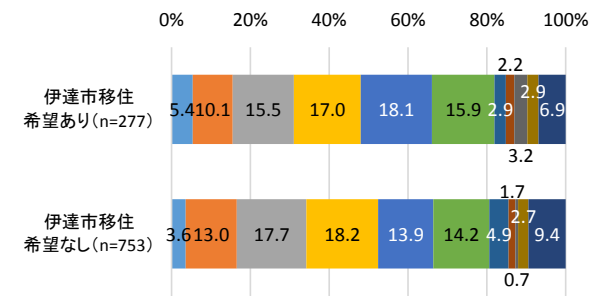


- 50万円未満
- 100万円～200万円未満
- 300万円～400万円未満
- 500万円～1,000万円未満
- 1,500万円～2,000万円未満
- 3,000万円～5,000万円未満
- 1億円以上
- 50万円～100万円未満
- 200万円～300万円未満
- 400万円～500万円未満
- 1,000万円～1,500万円未満
- 2,000万円～3,000万円未満
- 5,000万円～1億円未満
- わからない
- 答えたくない

<平均値>

	サンプル数	平均値
移住希望あり	244	20,701,844
移住希望なし	642	16,795,171
全国平均	確認中	確認中

■収入[SA]

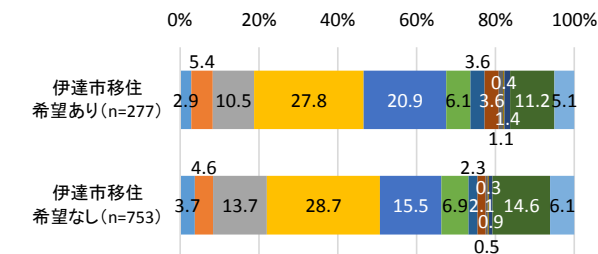


- 200万円未満
- 400万円～600万円未満
- 800万円～1,000万円未満
- 1,500万円～2,000万円未満
- 3,000万円以上
- 200万円～400万円未満
- 600万円～800万円未満
- 1,000万円～1,500万円未満
- 2,000万円～3,000万円未満
- わからない
- 答えたくない

<平均値>

	サンプル数	平均値
移住希望あり	250	8,812,000
移住希望なし	662	8,081,571
全国平均	22,486,700	4,546,000
40～44歳	3,265,830	4,991,400
45～49歳	2,889,940	5,529,800
50～54歳	2,431,360	5,816,300
55～59歳	2,068,960	5,534,100

■老後の年収(見込み)[MA]



- 50万円未満
- 100万円～200万円未満
- 400万円～600万円未満
- 800万円～1,000万円未満
- 1,500万円～2,000万円未満
- 3,000万円以上
- 50万円～100万円未満
- 200万円～400万円未満
- 600万円～800万円未満
- 1,000万円～1,500万円未満
- 2,000万円～3,000万円未満
- わからない
- 答えたくない

<平均値>

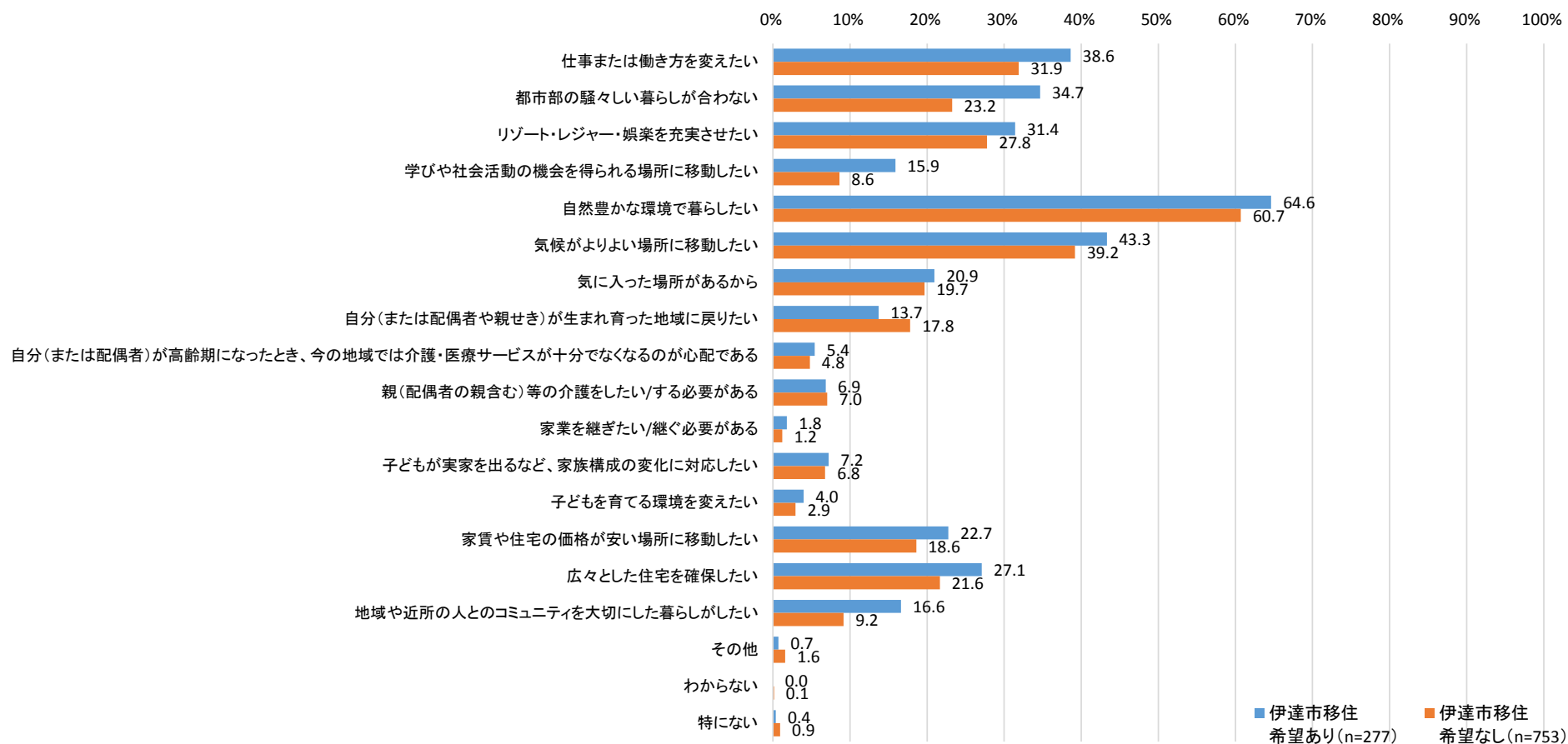
	サンプル数	平均値
移住希望あり	232	4,781,250
移住希望なし	597	4,133,585
全国平均	確認中	確認中

※平均値は、各階層の中央値(最も高い階層のみ最低値)を用い、加重平均した値。サンプル数は、「わからない」「答えたくない」を除いた値。

2-3 移住の理由【伊達市への移住希望の有無別】

- 移住の理由としては、自然豊かな環境で暮らしたいが最も多く、気候がよりよい場所に移動したい、仕事・働き方を変えたい、都市部の騒々しい暮らしが合わない等が続いている。
- 特に伊達市移住希望者では、自然豊かな環境、仕事・働き方を変えたい、都市部の暮らしが合わない、広々とした住宅を確保したい、家賃や住宅の価格が安い場所に移動したい、という理由が比較的多い。

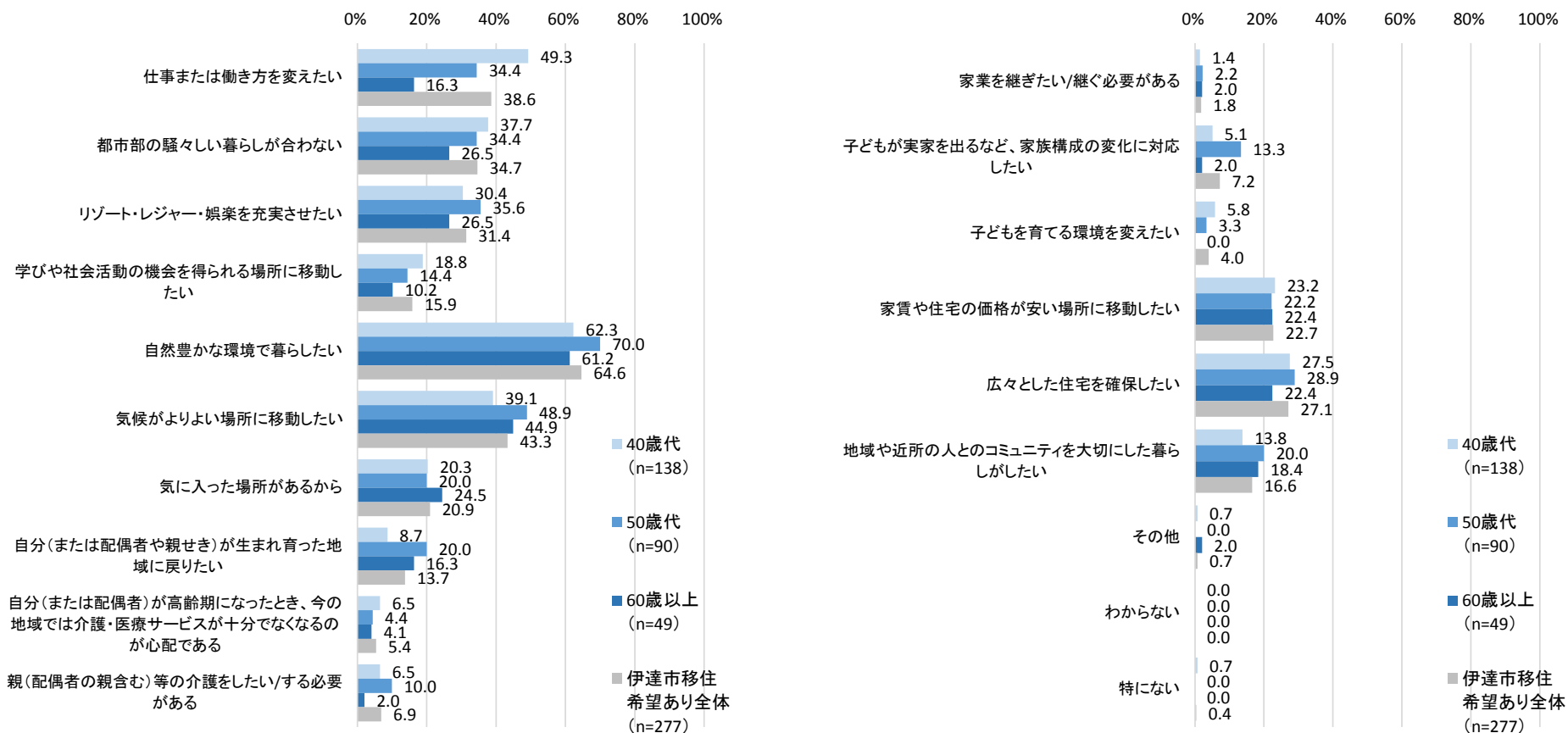
■移住の理由[MA]



2-3 移住の理由【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 全年代で「自然豊かな環境で暮らしたい」「気候がよりよい場所に移動したい」を選択する人は多い。
- 40歳代は「仕事または働き方を変えたい」「都市部の騒々しい暮らしが合わない」が他世代より多い。
- 50歳代では「家族構成の変化に対応」など暮らし方を見直す回答が目立ち、60歳以上では「気に入った場所がある」などシンプルに自分に合った環境を選びたいニーズがうかがえる。

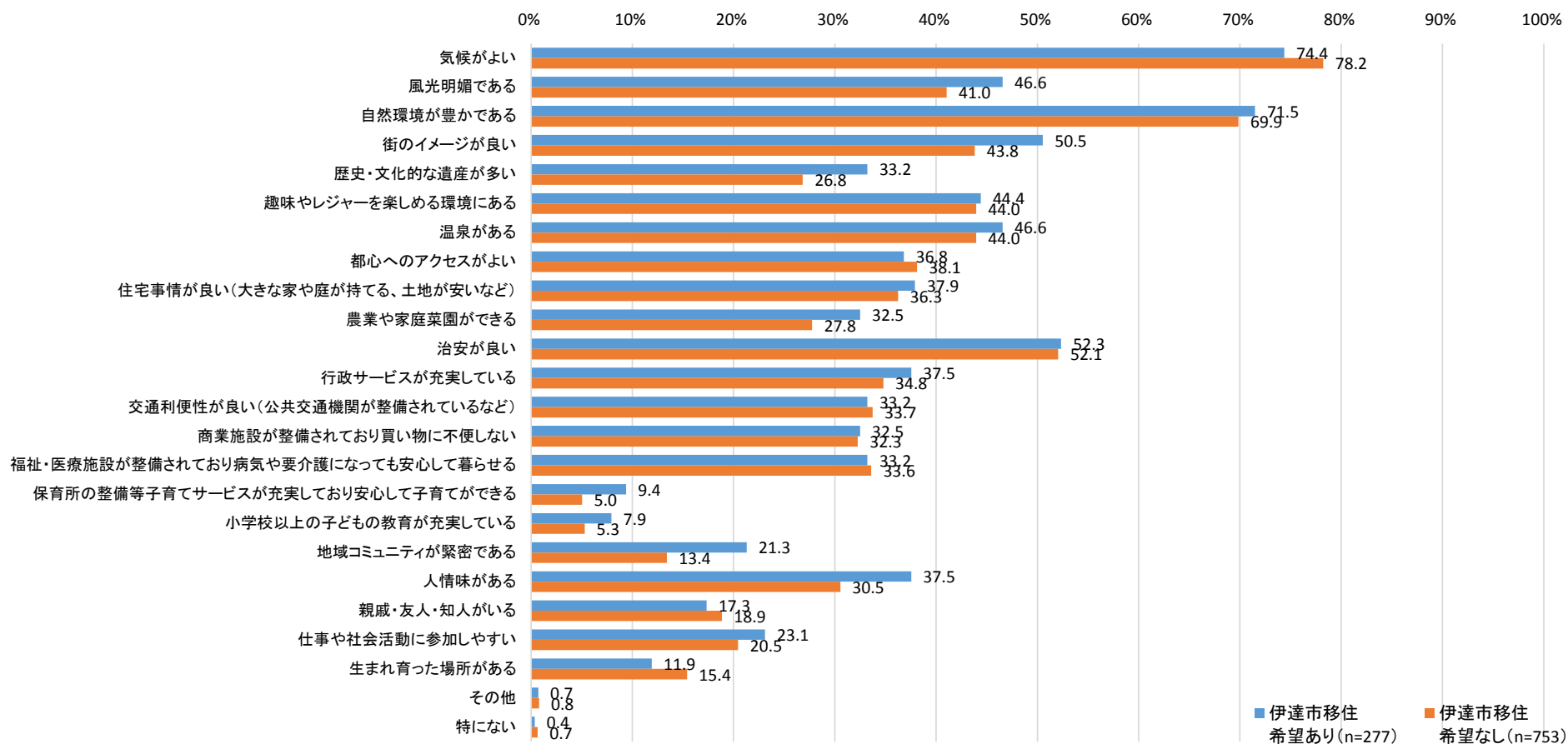
■移住の理由[MA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



2-4 移住希望の魅力①【伊達市への移住希望の有無別】

- 複数回答での移住希望の魅力は、気候、自然環境、治安、風光明媚、街のイメージ等の回答が多い。
- 伊達市への移住希望者では、風光明媚、街のイメージ、自然環境、歴史・文化的遺産、人情味、地域コミュニティ等を魅力として挙げる人が比較的多い。

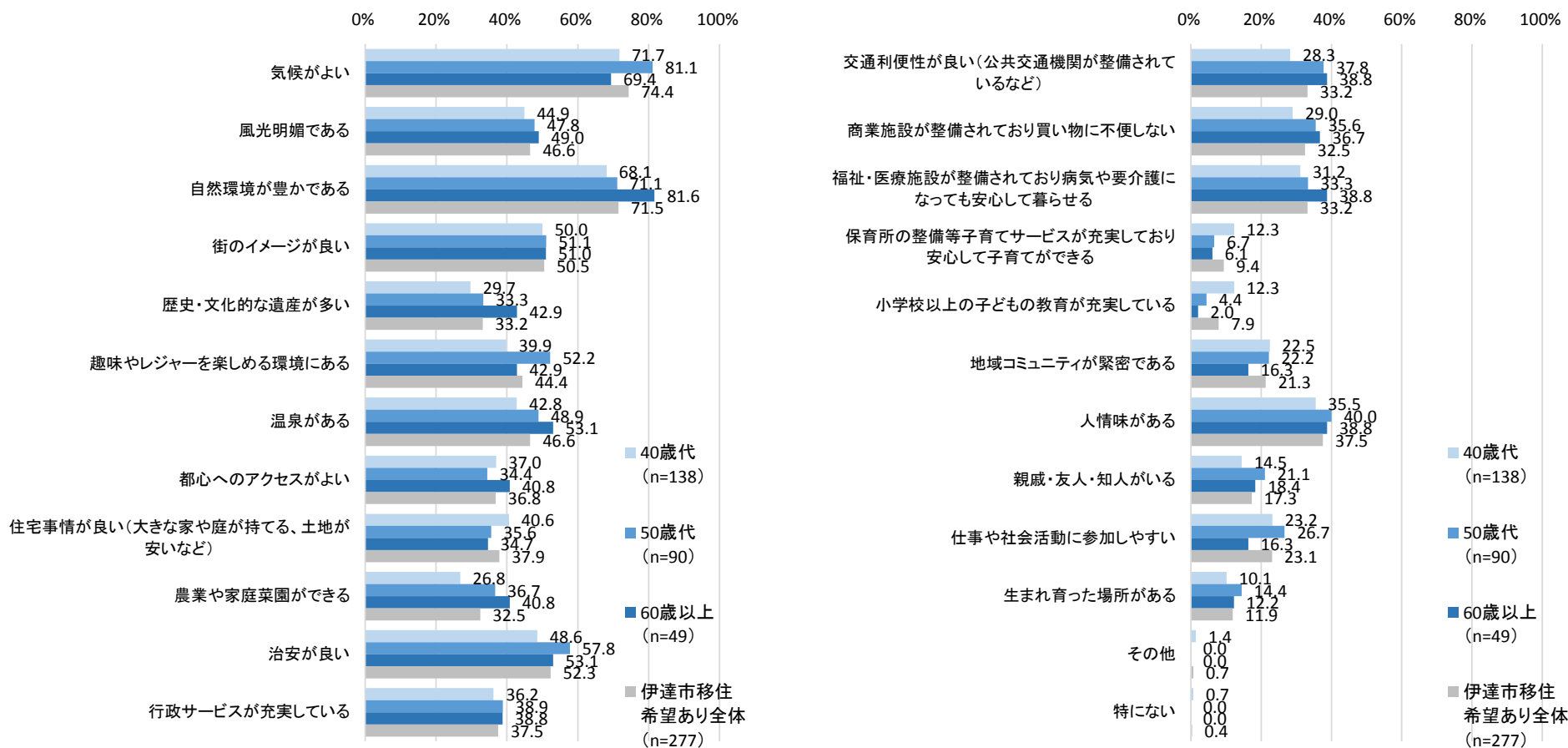
■移住希望の魅力[MA]



2-4 移住希望の魅力①【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 全年代で気候・自然環境に対する評価が高い中で、特に50歳代では「気候が良い」と回答する人が8割、60歳以上では「自然環境が豊か」と回答する人が8割を占める。
- 交通・買物・医療介護サービスについても、積極的に受け止めている人が比較的多い。一方で、保育所・小学校等の教育に関しては、魅力と回答する人が少ない。

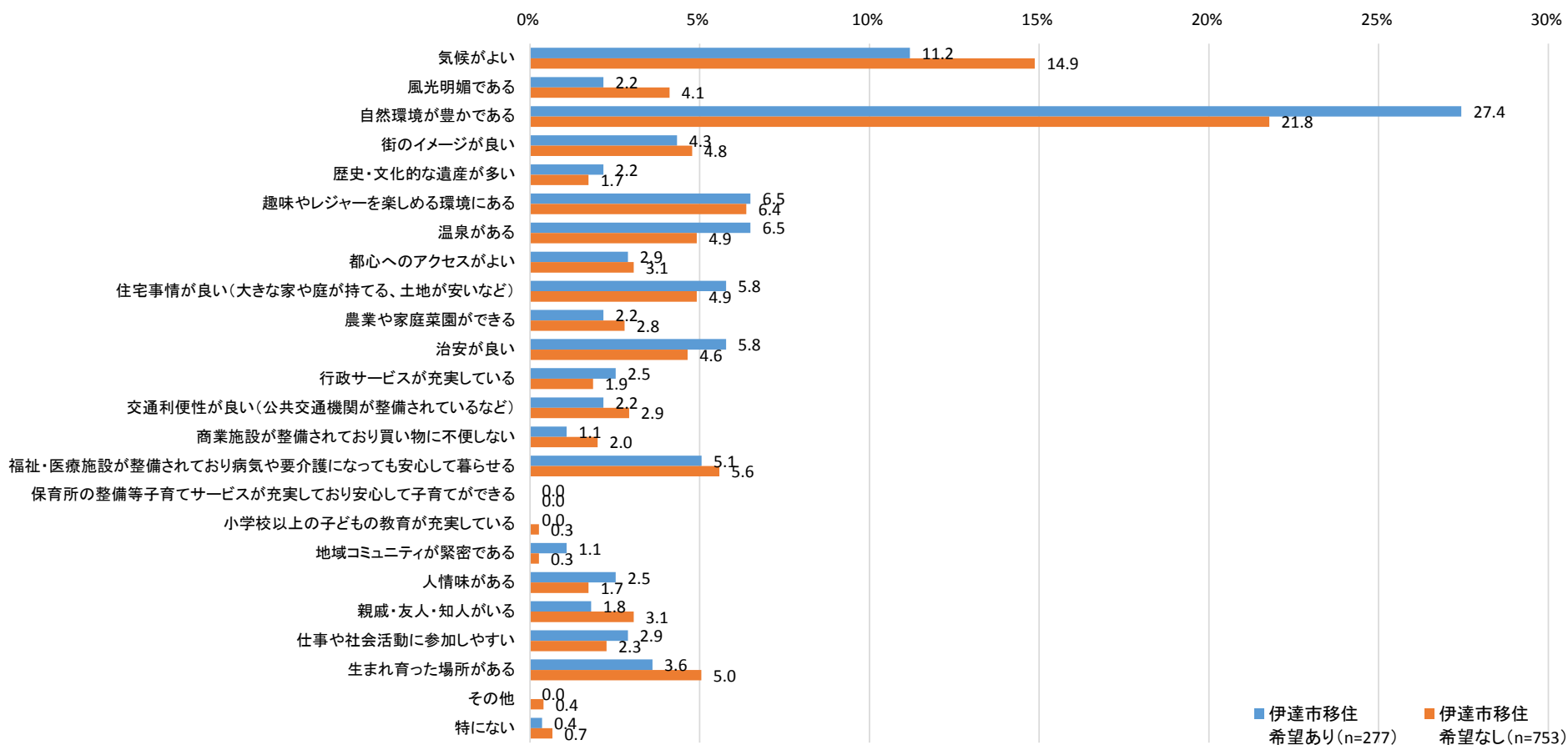
■移住希望の魅力[MA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



2-4 移住希望の魅力②(最も重要なポイント)【伊達市への移住希望の有無別】

- 最も重要なポイントとしては、自然環境、気候を挙げる人が突出している。
- 伊達市への移住希望者では、自然環境が最大の魅力であり、住宅事情、治安等を挙げる人も多い。

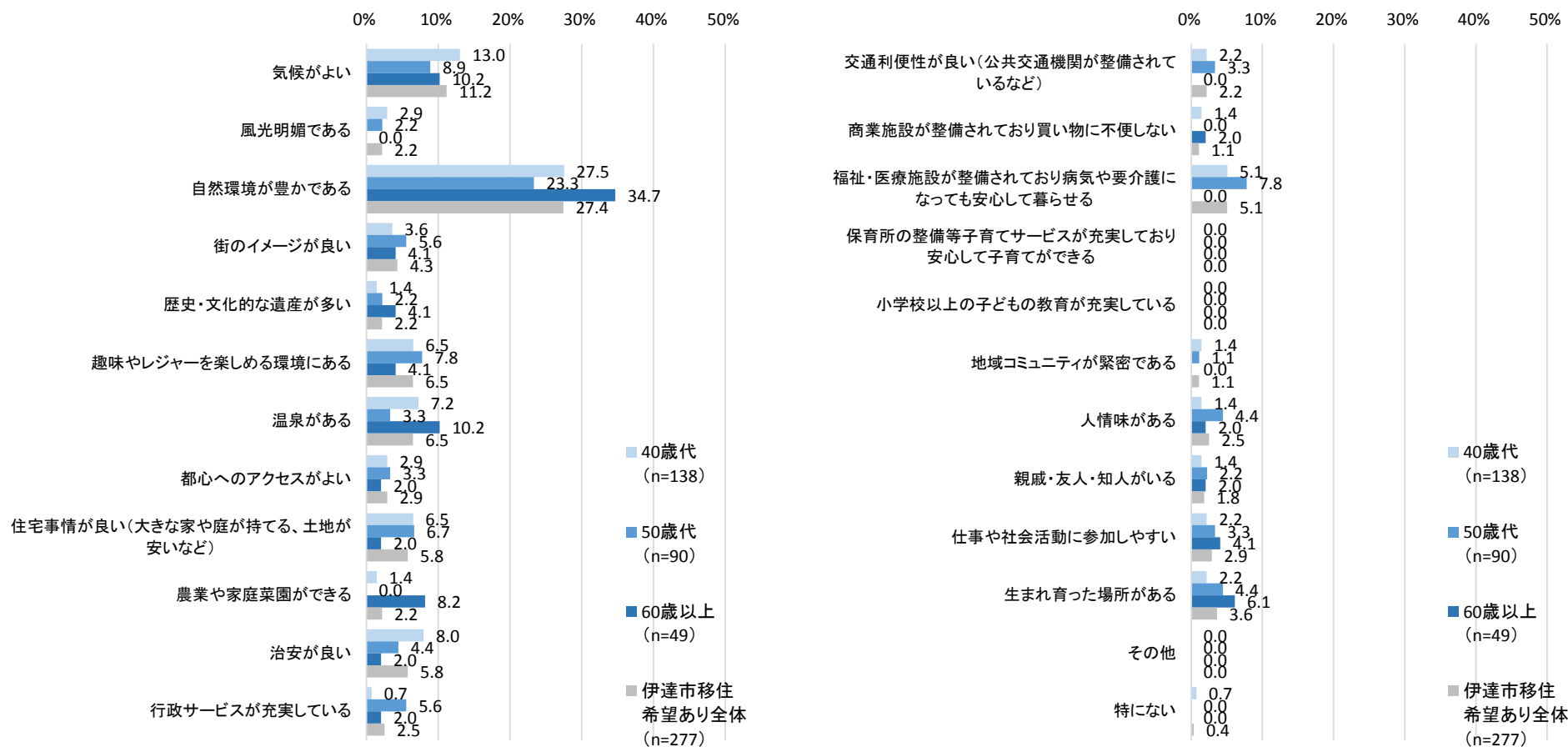
■移住希望の魅力(最も重要なポイント)[SA]



2-4 移住希望の魅力②【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 最も魅力と感ずる部分については「自然環境が豊か」が、全年代で突出して多い。ついで、「気候が良い」「趣味やレジャーを楽しめる環境」等が多く選ばれている。
- 40歳代では気候、住宅事情、治安等の評価が比較的高い。

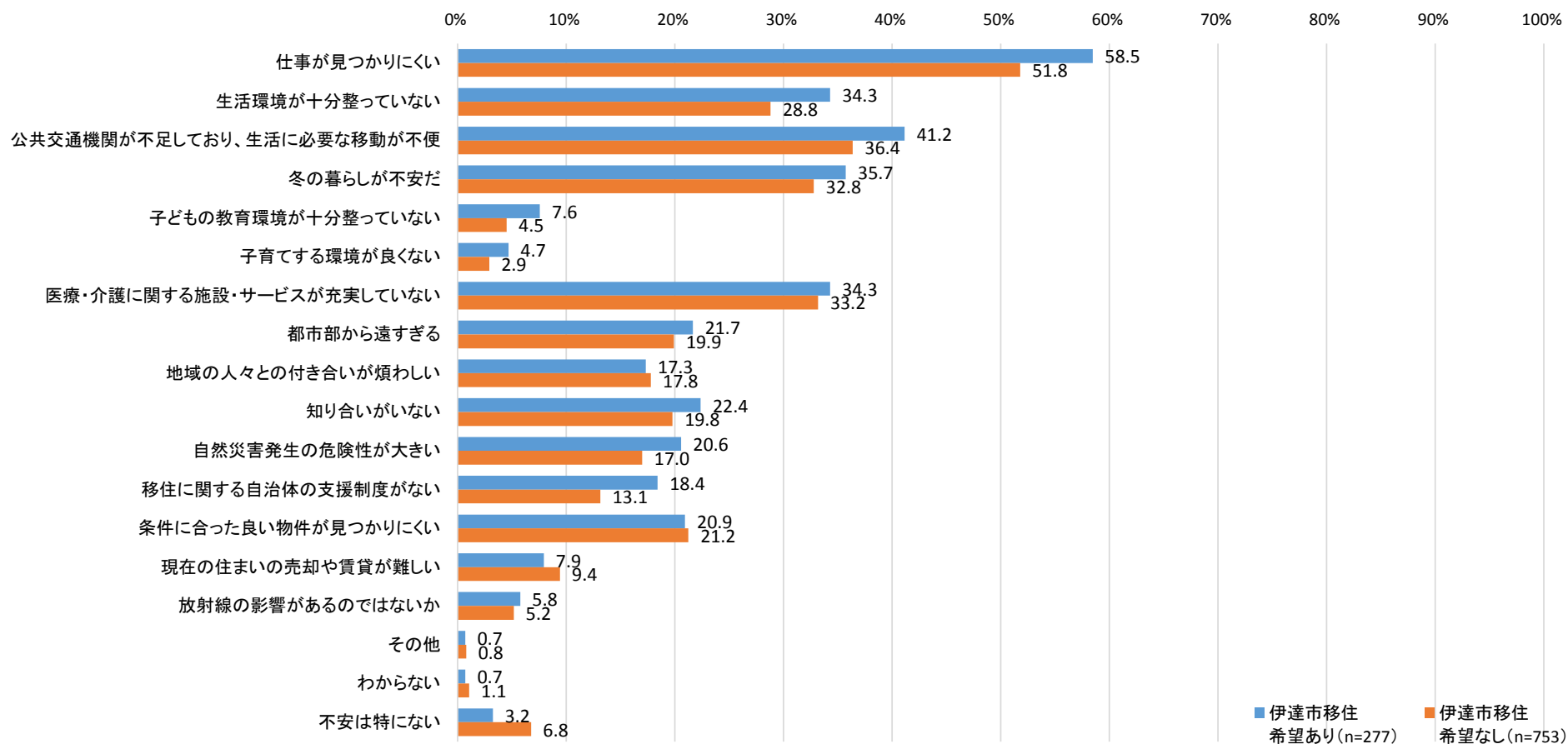
■移住希望の魅力(最も重要なポイント)[SA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



2-5 懸念事項【伊達市への移住希望の有無別】

- 懸念事項として、仕事の確保、生活環境、公共交通、医療・介護の施設・サービス等を挙げる人が多い。
- 伊達市への移住希望者では、仕事の確保、生活環境、公共交通、医療介護、子育て環境等を懸念事項として挙げる人が比較的多い。

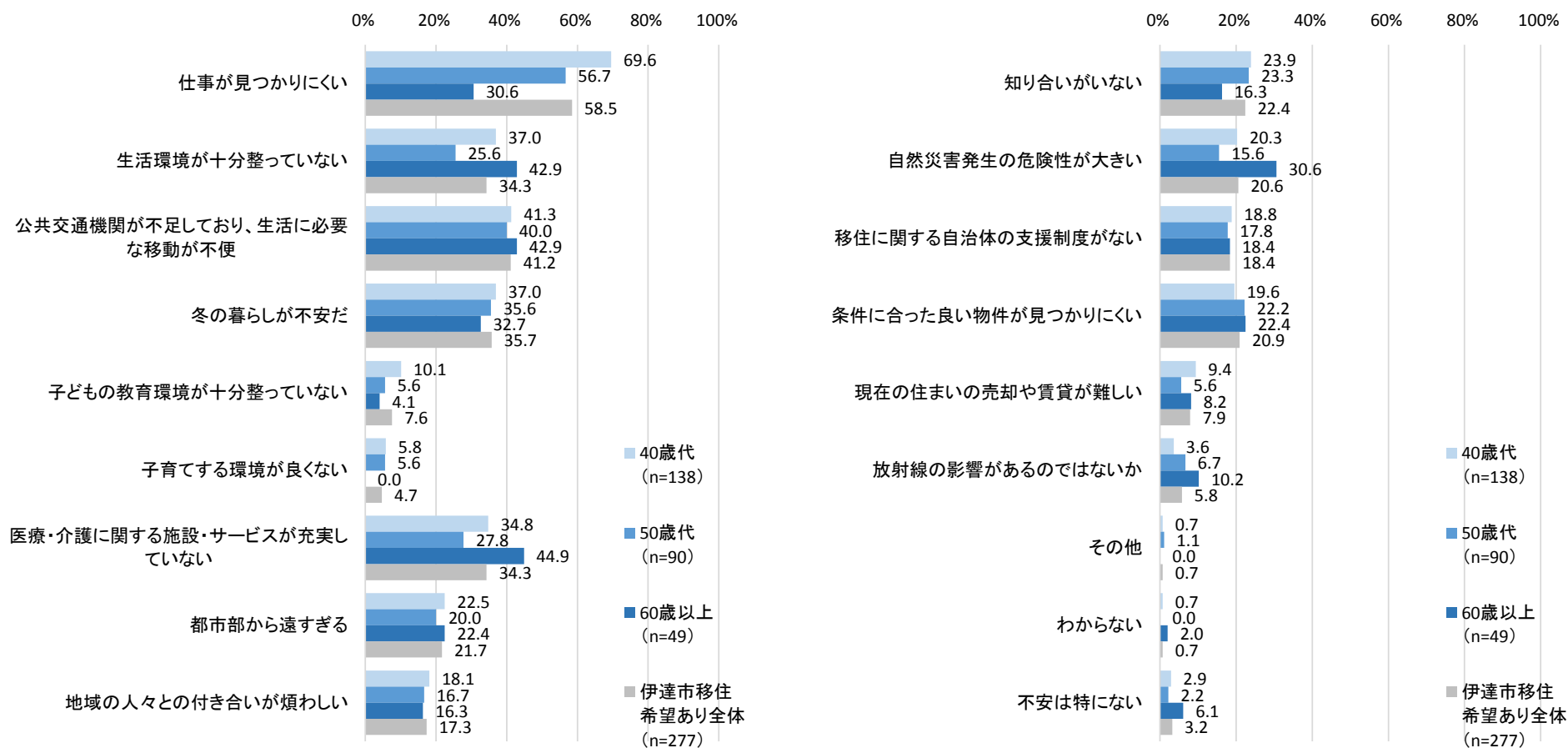
■懸念事項[MA]



2-5 懸念事項【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 「仕事が見つかりにくい」は、若いほど、懸念材料として選択される割合が高い。
- 医療・介護に関する施設・サービスに関する不安は、40代、60歳以上で選択される割合が高い。

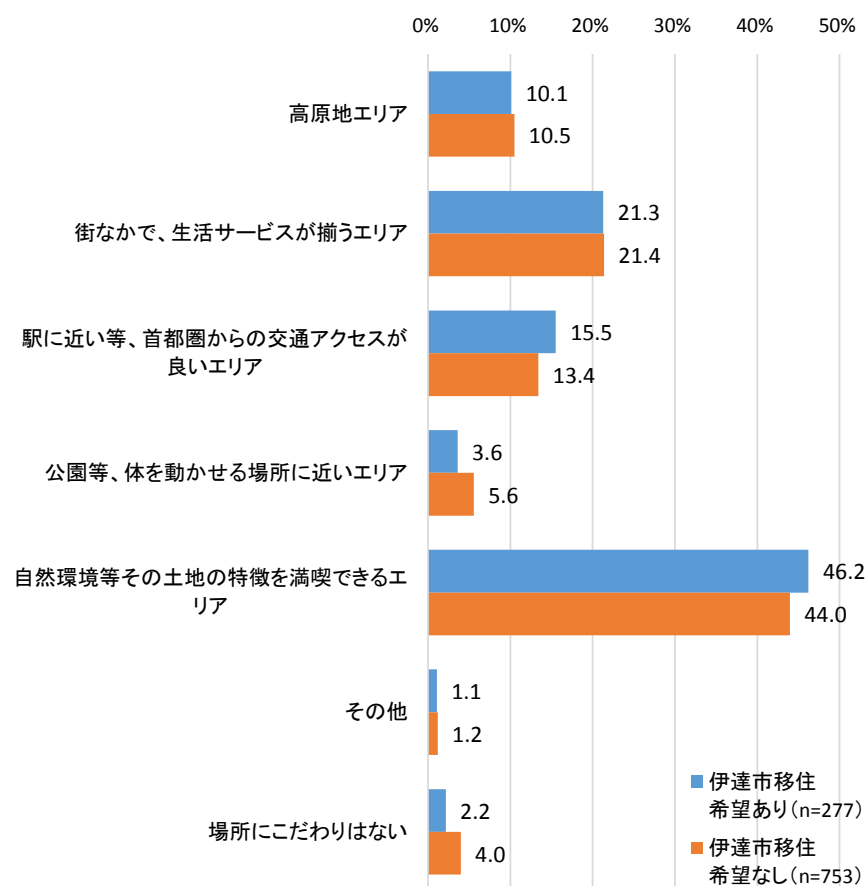
■懸念事項[MA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



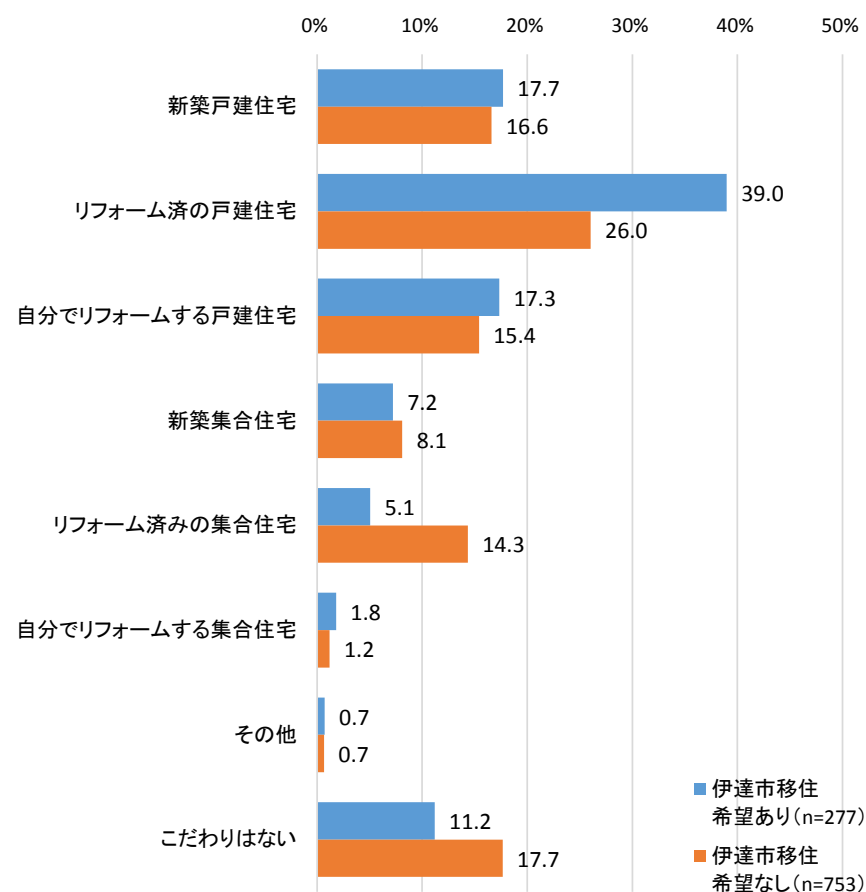
2-6 希望エリア、居住形態【伊達市への移住希望の有無別】

- 希望するエリアや居住形態としては、土地の特長を満喫できるエリアの人気が高く、リフォーム済みの戸建住宅のニーズが高い。
- 伊達市への移住希望者では、同様の傾向がより顕著に出ており、居住形態として新築へのニーズは高くない。

■希望エリア[SA]



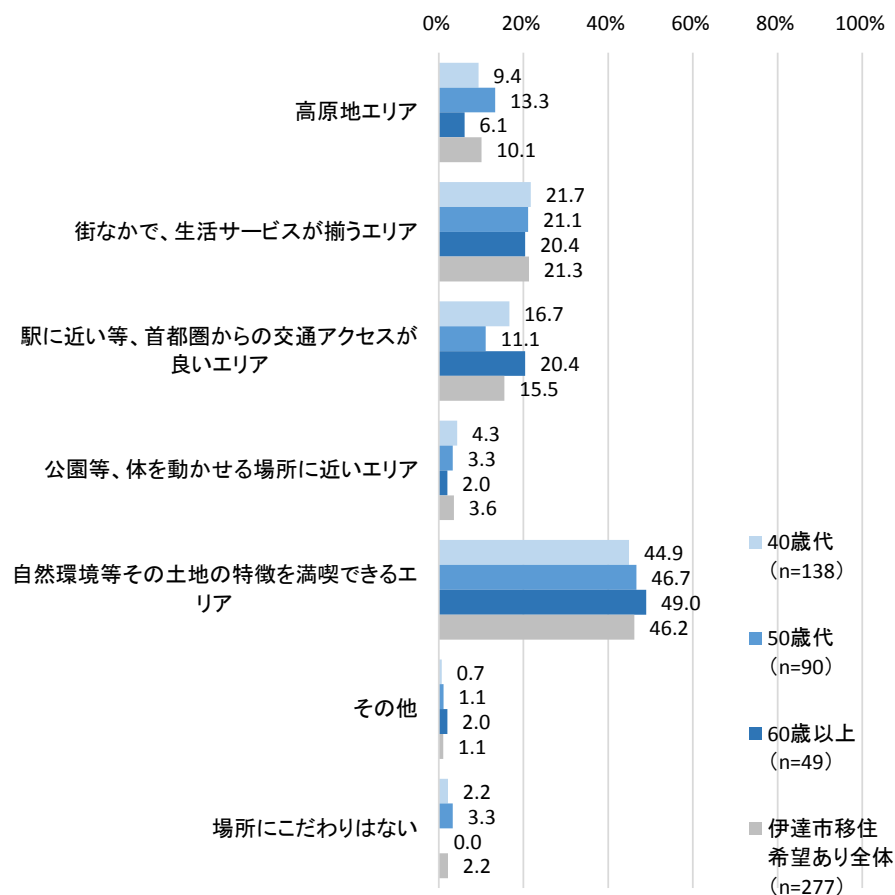
■居住形態[SA]



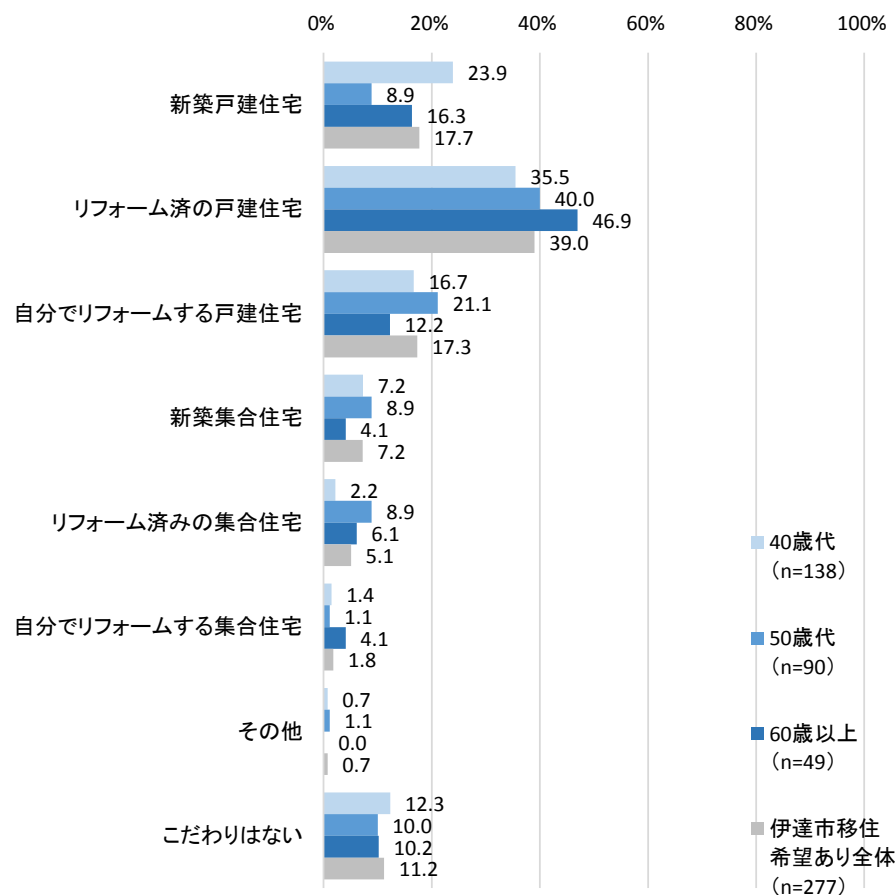
2-6 希望エリア、居住形態【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 希望エリアは年代によって差が少なく、自然環境等の特徴を満喫できるエリアが人気である。40歳代・60歳以上では交通アクセスが良いエリアの人気も高いが、50歳代ではそうでもない。
- 全体としてリフォーム済の戸建住宅が人気だが、40歳代では新築戸建住宅の人気も高い。50歳代では自分でリフォームする戸建住宅の人気も高い。

■希望エリア[SA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



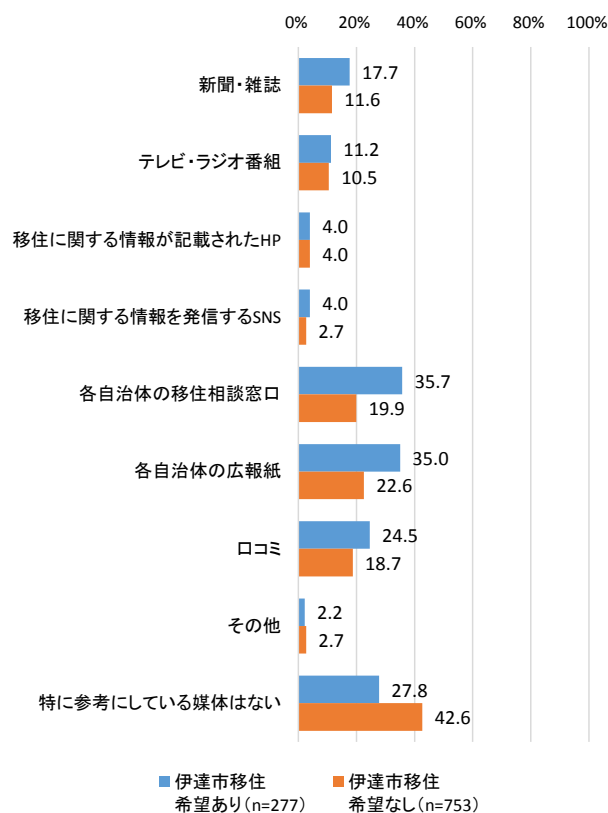
■居住形態[SA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



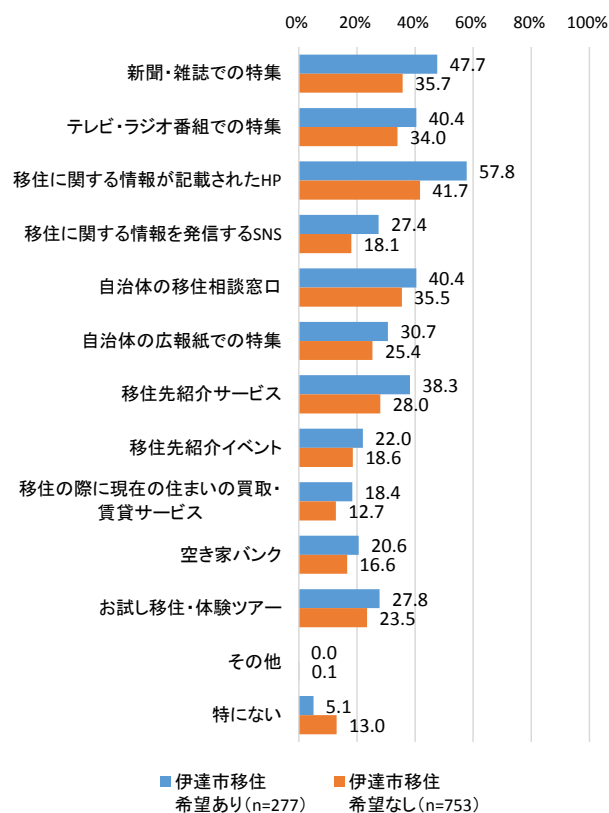
2-7 入手媒体、希望媒体、移住・CCRC移住に必要な情報窓口【伊達市への移住希望の有無別】

- 移住に関する情報収集ツール、窓口としては、自治体の移住相談窓口、ホームページ・ポータルサイト、新聞雑誌、首都圏での移住相談セミナー、お試し居住等のニーズが高い。
- 伊達市への移住希望者では、自治体の相談窓口、ホームページ、首都圏でのセミナー、お試し居住等のニーズが全体的に高い。

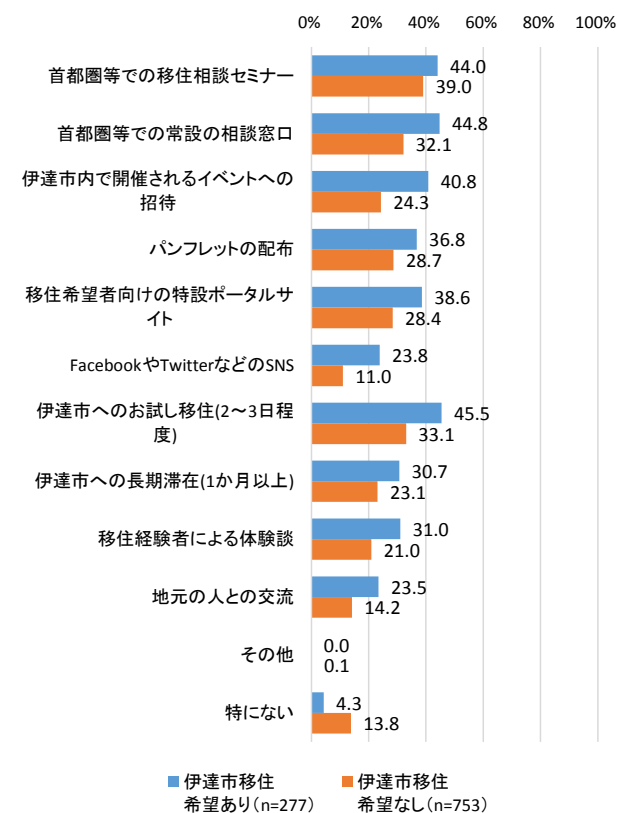
■入手媒体[MA]



■希望媒体[MA]



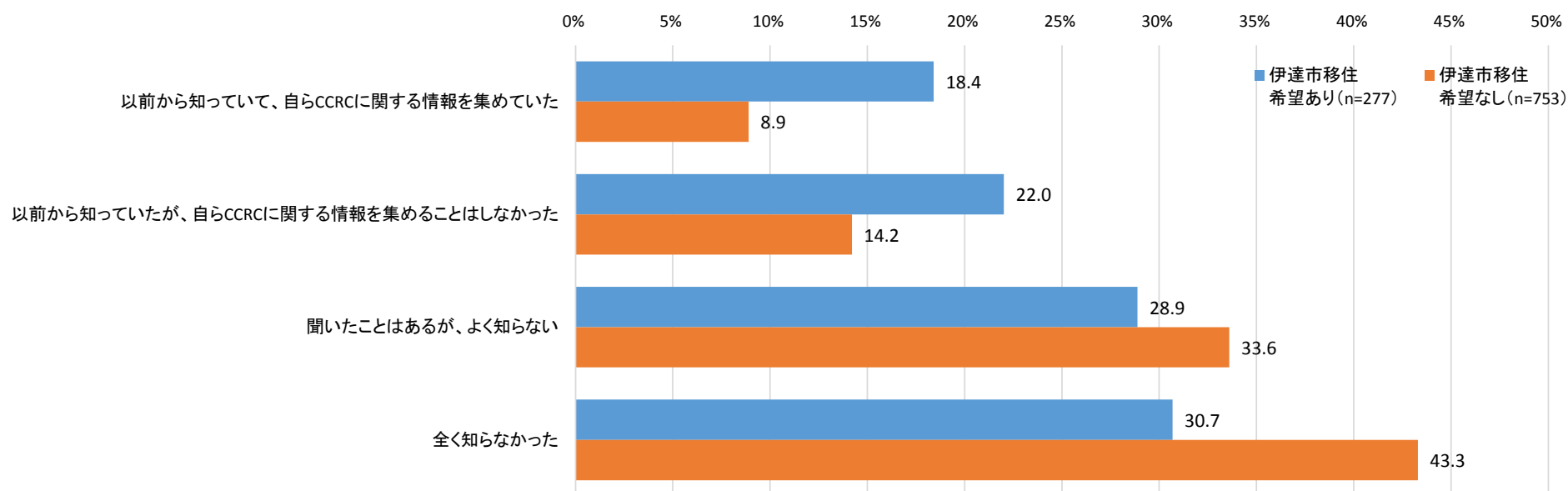
■CCRC移住に必要な情報窓口[MA]



2-8 CCRCの認知度【伊達市への移住希望の有無別】

- CCRCは、伊達市への移住希望者の中では、比較的認知度がある。

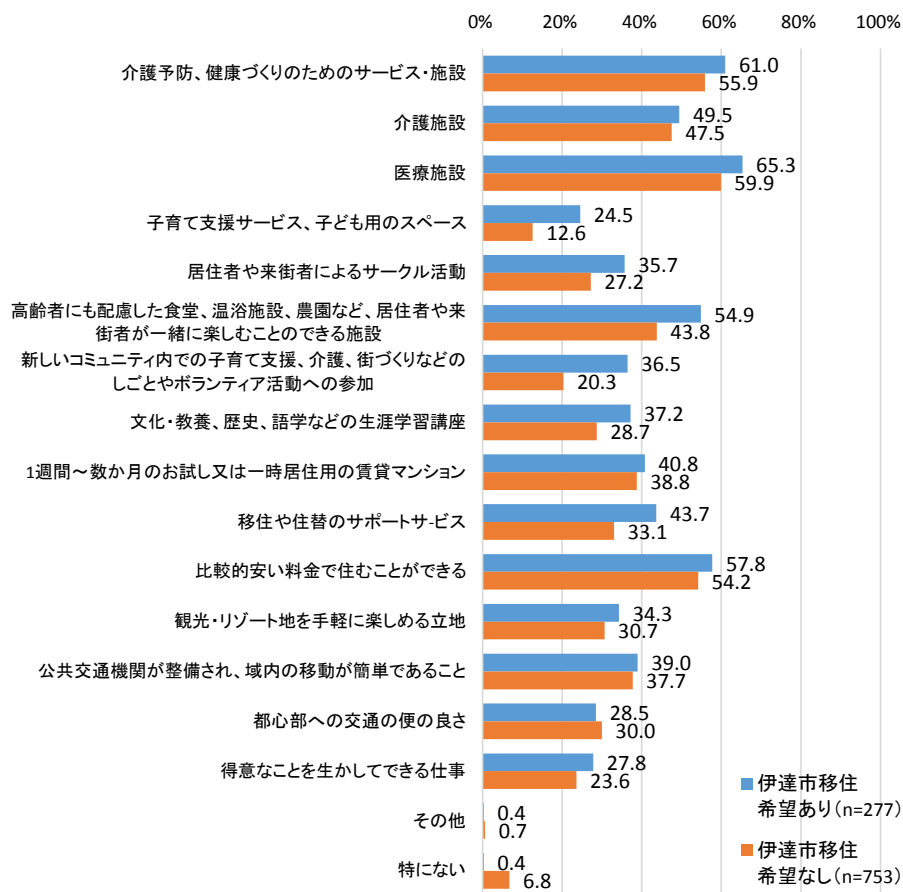
■ CCRCの認知度[SA]



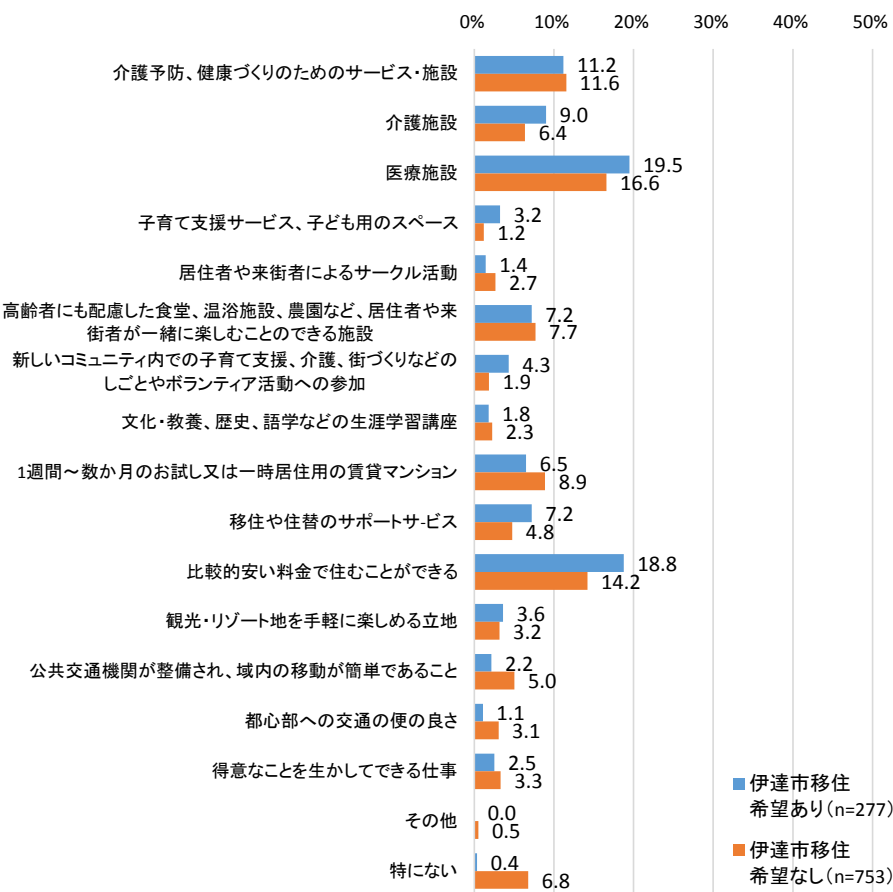
2-9 伊達市版CCRCへの希望【伊達市への移住希望の有無別】

- 伊達市版CCRCへ希望する機能としては、医療・介護・健康づくりのサービスと施設の充実、居住者と来街者が一緒に楽しめる施設、比較的安い料金で住めることへのニーズが高い。
- 最も重要な機能としては、医療と価格が重視されている。

■伊達市版CCRCへの希望[MA]



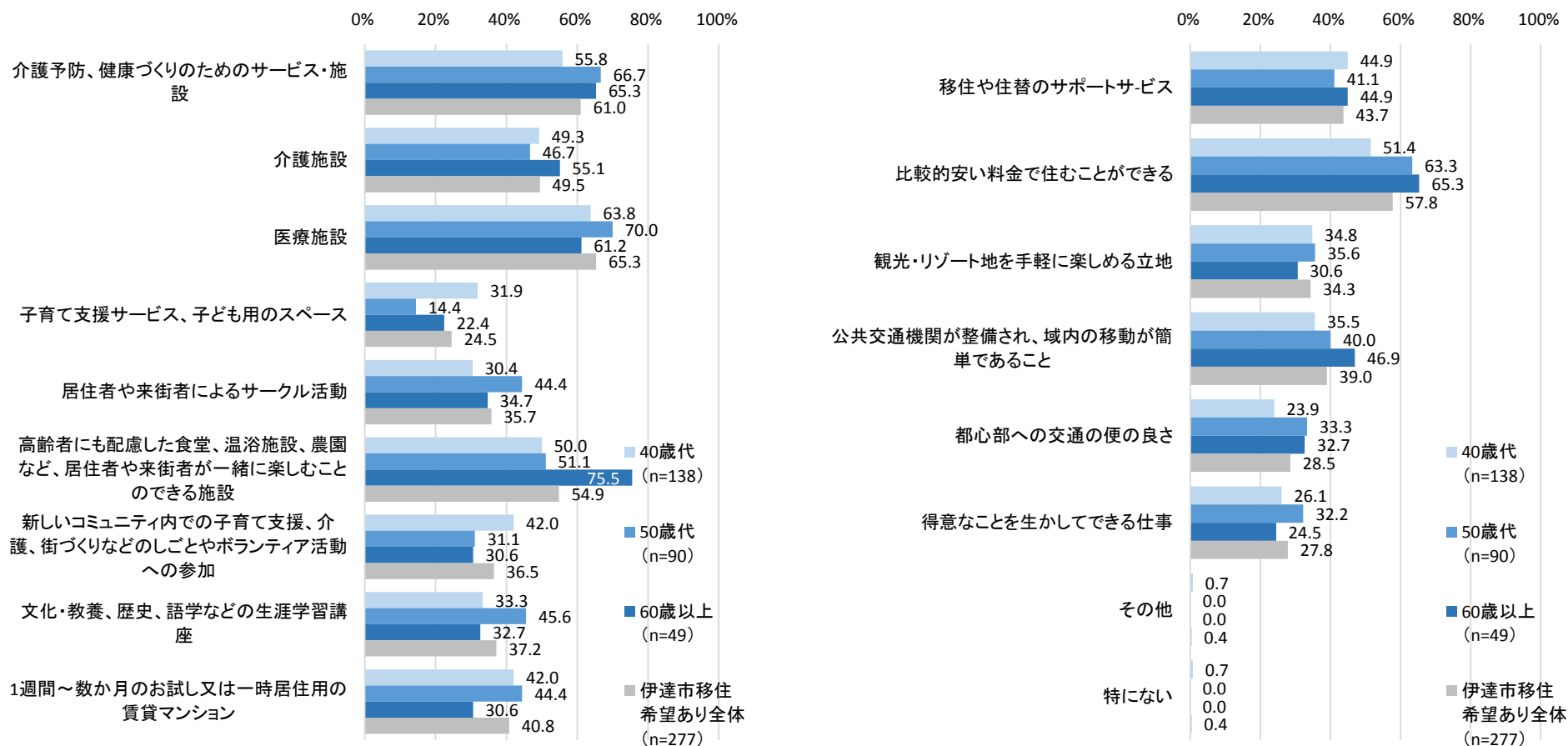
■伊達市版CCRCへの希望(最も重要な機能)[SA]



2-9 伊達市版CCRCへの希望【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 伊達市版CCRCにあると良い機能については、年代が上がるにつれて、居住者・来街者が一緒に楽しめる施設・安さ・域内移動を重視するようになっていく。
- 50歳代では健康づくり・サークル活動・障害学習講座等が他世代よりも人気である。
- 40歳代では子育て支援・ボランティア活動・移住や住替サポートが多世代より人気である。

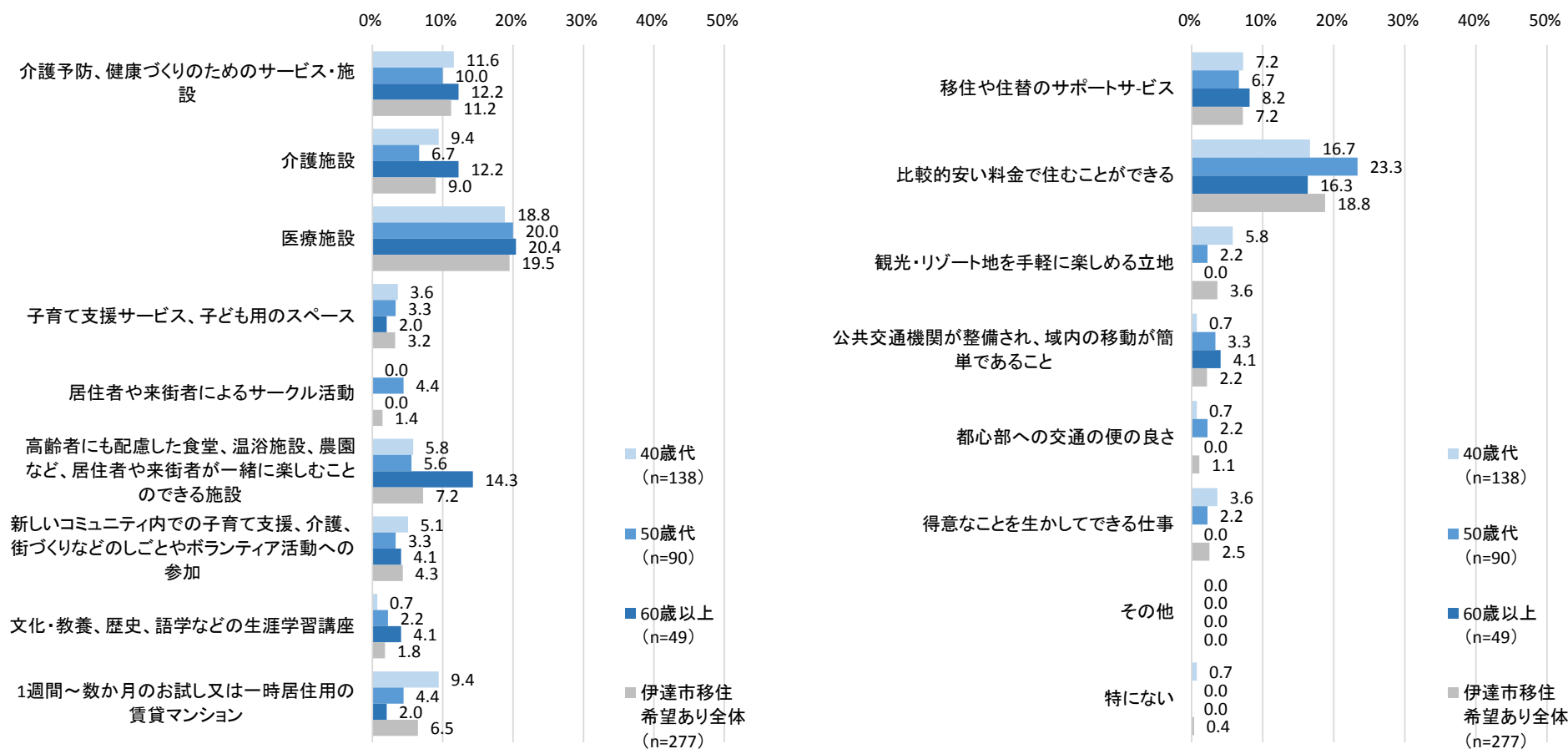
■伊達市版CCRCへの希望[MA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



2-9 伊達市版CCRCへの希望【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 最も重要視しているのは、全世代で健康づくり・介護施設・医療施設は共通しており、安い料金で住める点では50歳代が突出している。
- 60歳以上では居住者・来街者が一緒に楽しめる施設である点も重視されている。

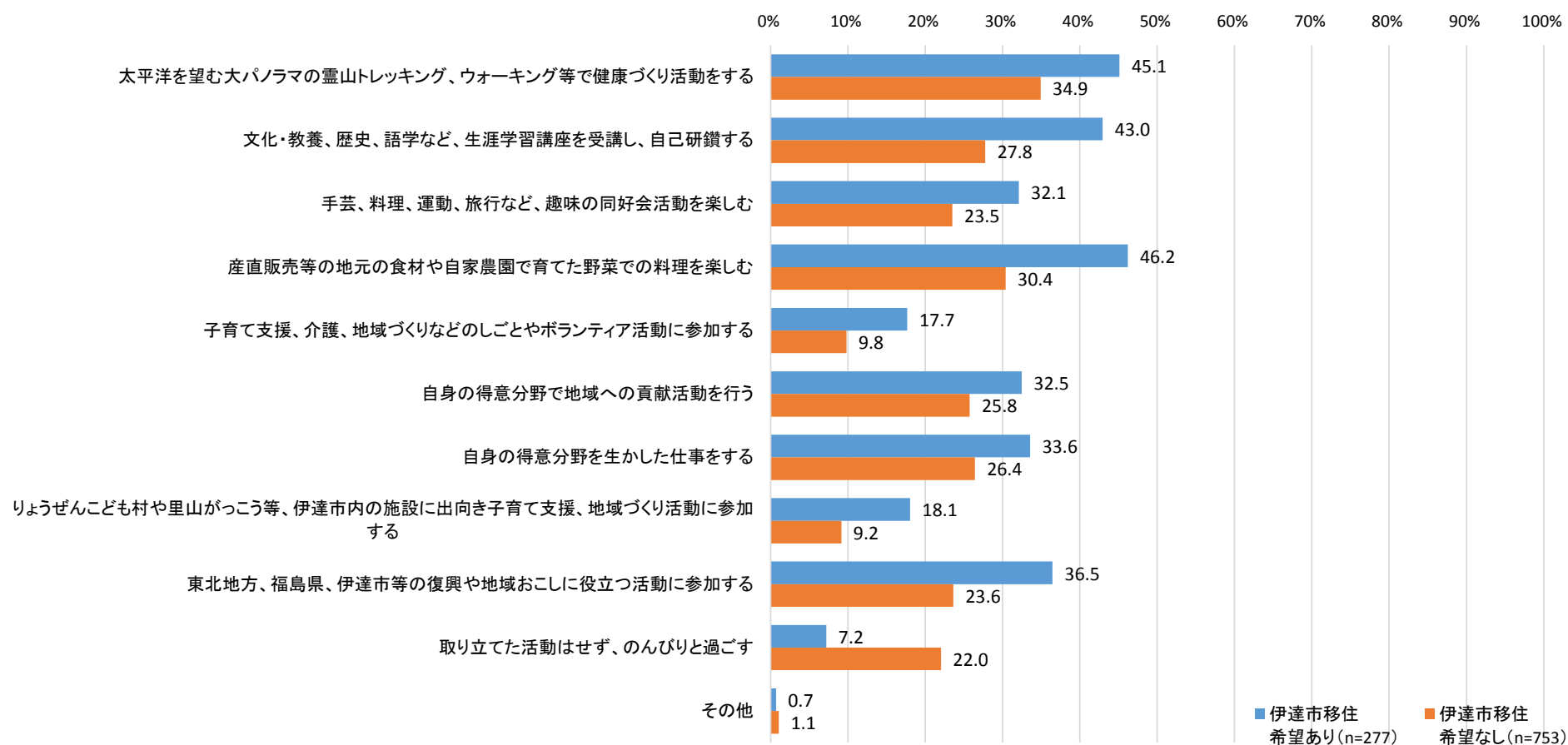
■伊達市版CCRCへの希望(最も重要な機能)[SA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



2-10 伊達市への移住でやりたいこと【伊達市への移住希望の有無別】

- 伊達市へ移住してやりたいことでは、トレッキング・ウォーキング等の健康活動、産直野菜・自家製野菜等で料理を楽しむ、自己研鑽のニーズが最も高い。
- 同好会、自分の得意分野を生かした地域貢献、仕事、復興・地域おこし活動への参加も約3割の人がやってみたいと回答している。

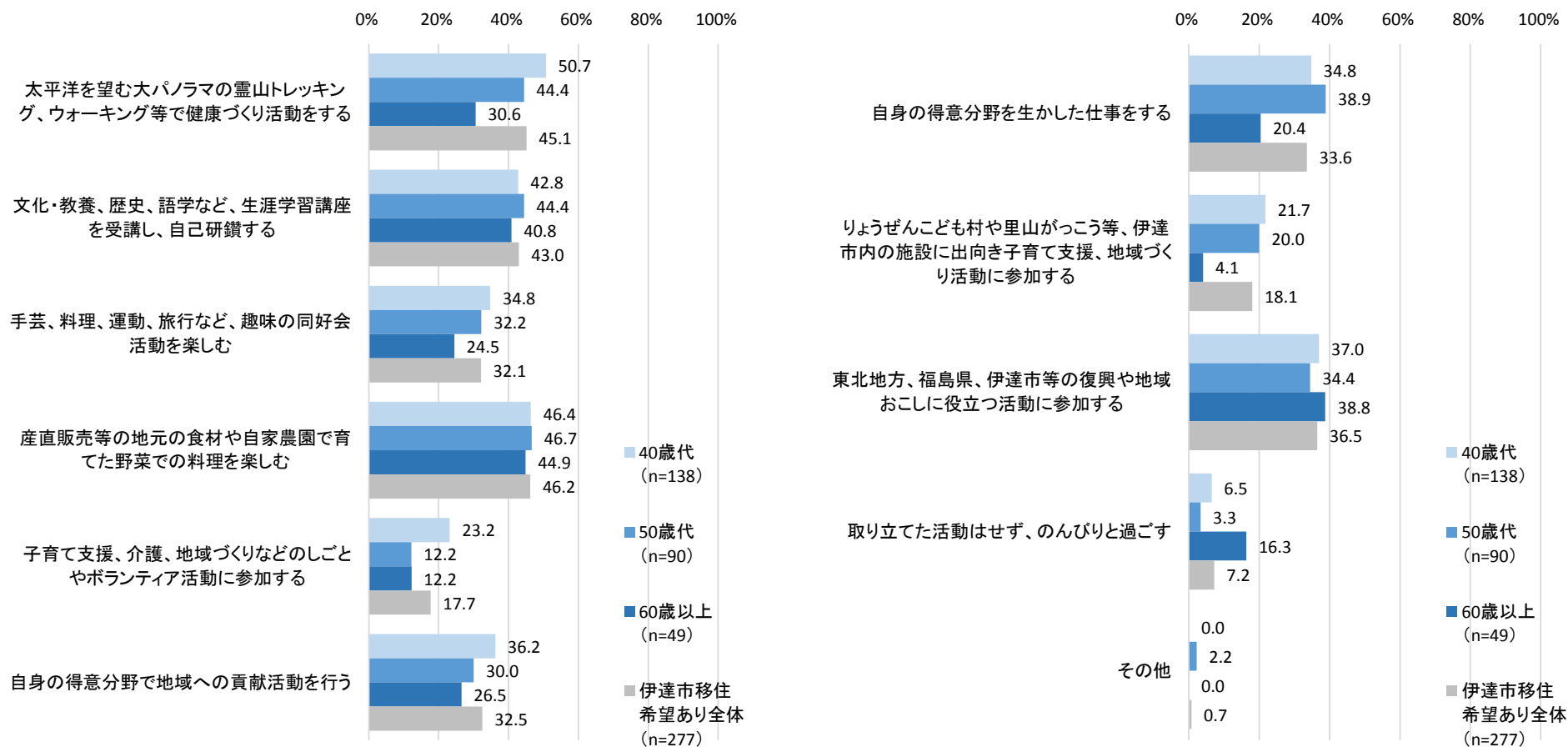
■伊達市への移住でやりたいこと[MA]



2-10 伊達市への移住でやりたいこと【伊達市への移住希望の有：年齢階層別＋全体】

- 伊達市への移住でやりたいことでは、全世代通して生涯学習・地元食材を用いた食事・地域おこし活動について希望が多かった。
- 健康づくり活動・同好会活動・自身の得意分野での地域貢献活動は、若いほど人気が高く、60歳以上では「取り立てた活動はせず、のんびりと過ごす」ニーズも相当数存在している。

■伊達市への移住でやりたいこと[MA] <【伊達市への移住希望あり】年代別>



3. グループインタビュー(実施概要)

【日程】

2016年12月16日(金)

- ・ 伊達市等に縁がなく、伊達市への移住意向がある人 13時～14時30分
- ・ 伊達市等に縁があり、伊達市への移住意向がある40～50歳代男性 18時～19時30分

2016年12月17日(土)

- ・ 伊達市等に縁があり、伊達市への移住意向がある40～50歳代女性中心 10時～11時30分
- ・ 伊達市等に縁があり、伊達市への移住意向がある60歳以上の人中心 13時～14時30分

【場所】三菱総研内 会議室

【設問】

- ・ (自己紹介)現在の職業、趣味、老後への期待や不安(15分)
- ・ (移住関連)伊達市への移住希望の理由・魅力、阻害要因等の詳細(45分)
- ・ (移住関連)伊達市に移住してやってみたい活動、時間の使い(15分)
- ・ (移住関連)伊達市の中でどのような場所に住みたいか、場所・住宅・機能(10分)
- ・ (移住関連)伊達市への移住支援に関する要望、発信して欲しい情報等(5分)

3. 主な意見 (1) 移住先として伊達市を選んだ理由、魅力

【移住先として伊達市を選択した理由、移住したい理由】

- (環境) 自然豊かな田舎暮らしへのあこがれ、四季折々の海の幸・山の幸・お酒
- (立地条件・アクセス) 実家と東京へのアクセスが良い、山・海に近い、東北地方の中では雪が少ない
- (親戚・友人・知人等の縁) 知人・友人・親戚がある、伊達市内の友人から事業に誘われている
- (まちなかの雰囲気、土地柄) 慣れ親しんでいる場所・雰囲気、一緒に移住予定の両親も気に入った

【移住を希望する時期】

- (40～50代) 10年後めどに移住したい、定年後(60～65歳ごろ)に移住したい
- (60歳以上) 早くて70歳で移住したい

【移住に際して心配なこと、阻害要因】

- (仕事) 就職先・収入のある仕事があるか、伊達市から都内への通勤は可能か
- (交通) 交通インフラがあるのか、免許返納後の移動手段はあるのか
- (医療、介護) 拠点病院の実力、介護・ホームの整備状況、医療施設へのアクセスが心配
- (家族) 家族の同意を得られるか
- (暮らし) 年金と蓄えだけで生活できるか(60歳代)

3. 主な意見 (2)伊達市での暮らし方

【移住形態】

- (移住形態)定住を想定、関東近隣で週末滞在をしたい、一時居住～長期滞在のステップを踏んで最終的に移住したい
- (立地環境)自然が美しいところ、仕事による、中心駅から2～3駅＋徒歩7～8分、ある程度の市街地
- (物件スタイル)庭付き一戸建て、一人で住むなら集合住宅も良い、年齢を重ねると一定の住宅密度の方が安心、隣に畑がある住宅が良い、新築・中古はそれぞれ

【実現したい暮らし】

- (自然を楽しむ)自然が多いところでのんびり暮らしたい、子どもに自然を体感させて育てたい
- (家庭菜園、小さな農家)郷土食材を使ってお店をしたい、家庭菜園にあこがれ、庭の果物でジャム・アップルパイを作りたい、果樹園・米作りがしたい
- (コミュニティ)地域の人と共にジャム等の加工品をアンテナショップで売りたい、これまでの教育関係の経験を生かした事業がしたい、ボランティアでも良いので何か活躍したい

【移住にあたって必要とする機能】

- (IT)リモート環境が整っていれば今すぐにでも行きたい、サテライトオフィスを安価で提供して欲しい
- (交通)新幹線までのアクセスに優遇・支援があると良い
- (医療・介護)救急体制、コミュニティで安否確認し合える仕組みがあると良い
- (就農・家庭菜園サポート)ボランティアで移住者が協力することで営農継続を支援する仕組み、農家・農協と連携した小規模農地の貸し出し、市が講師役の人を斡旋してくれる仕組み等があると良い
- (コミュニティ形成・交流)地元市民と移住者が混在した新しいコミュニティを作りたい、交流の場としての農園やサークル活動があると良い、不安・気になることを相談できる相手が必要

3. 主な意見 (3)伊達市での暮らし方 つづき

【移住にあたって必要とする情報】

- (インフラ整備の整備状況)ITインフラ、交通インフラ等の整備状況が知りたい
- (医療・介護)持病に対する対応可能性、高齢者福祉事業の状態
- (先行移住者の事例・イメージ)移住者のブログ、体験談を詳しく知りたい。
- (就農・家庭菜園情報)就農サポート、農地の貸し出し等あるのか
- (住宅事情)家賃、坪単価、空き家活用の可能性
- (イベント情報)首都圏でのPRイベント情報が知りたい。HP、YouTube等ももっと活用してはどうか。

【その他】

- 伊達市ならではの特長が知りたい。
- 名産品をもっとブランドとしてアピールしてはどうか。
- 福島県伊達市の知名度をあげることが必要。
- 例えば、造語を作り、「伊達男を集める」「伊達に食べる」等、「伊達に」という言葉を活用してはどうか。食が豊かということをアピールしても良い。
- 今後、移住者を呼び込むのであれば、伊達市HPも移住者を意識したものにしていける必要がある。